

## 令和8年度 第1回「北九州市教育支援委員会」会議録（要旨）

1. 日 時 令和8年5月13日（水）15時00分～16時30分
2. 形 式 ハイブリッド形式（集合・オンライン）
3. 出席者 〔北九州市教育支援委員〕大平 壇（会長）他15名  
（欠席:下野委員、森川委員、村上委員、向野委員、長崎委員）  
〔事務局〕学校教育部部长 竹永 政則  
特別支援教育相談センター所長 千々和 知子  
他11名

### 4. 議事次第

- (1) 令和7年度 教育支援委員会の答申に基づく就学相談・通級相談の結果について
- (2) 令和8年度 教育支援委員会事業計画
  - ① 各種事業開催日時及び会場（案）
  - ② 教育支援委員会分掌及び業務（案）
  - ③ 就学先決定に伴う手続き（案）
- (3) 令和8年度 就学相談会実施要項
- (4) 令和8年度 就学相談会の申込みについて
- (5) 就学相談に係る答申とは異なり、総合的判断を行って就学先決定した児童生徒の状況調査

### 5. 議事（要旨）

- (1) 令和7年度 教育支援委員会の答申に基づく就学相談・通級相談の結果について

（事務局）令和7年度の申込総数は、2328人であった。そのうち就学相談数は1514人、通級相談者は814人であった。令和7年度の申込み数は令和6年度と比べて、就学相談は49件減少、通級相談は64件増加し、総数で15件増加している。通級相談者の申込数増加の背景としては、令和5年度より就学相談と併せて申込みことができるようになったことや全市小中学校巡回型により教育的ニーズに対応ができるようになったことが考えられる。

小学校6年生の就学相談申し込み者における通常の学級在籍児童の割合が昨年度の21%に対して、今年度は15%と減少傾向にある。この

ことから、少しずつ校内での就学相談に対する説明や話し合いが丁寧に行われるようになってきていることも推測される。

(委員) 書類審査について、保護者等の負担軽減になっているようだが、令和7年度は何件だったか。

(事務局) 令和7年度の精神科による書類審査は、128件だった。

(委員) 小6特別支援学級(自閉症・情緒障害)在籍から中1通常の学級に在籍になった場合のフォロー体制はあるか。特別支援教室等の利用があることで、切れ目ない支援を継続でき、北九州市の教育体制として素晴らしいものになると考える。

(事務局) 小学校から中学校への引継ぎを実施していただくようにしている。小6特別支援学級(自閉症・情緒障害)から中1通常の学級に在籍になったもののうち、特別支援教室を希望し該当している場合もあるため、動向を調査する。

(委員) 中学校でも特別支援学級(自閉症・情緒障害)の希望者が多いことに驚いた。特別支援学級(自閉症・情緒障害)での支援に期待をしている人が多いと捉えた。通常の学級でも特別支援学級でも小6から中1の移行で、支援方法について申し送っていただき、支援を継続していただくことが望ましい。

(事務局) 就学相談で特別支援学級(自閉症・情緒障害)を希望した保護者の声として、より丁寧な支援を求めているものも多くあった。中学校入学後の適応状況を確認し、状況がよくなったタイミングで再度就学相談を検討する場合もある。

(2) 令和8年度 教育支援委員会事業計画

(事務局) 就学相談事業の基本方針としては、新小学1年生と新中学1年生を優先して実施し、早い時期の就学先決定と円滑な手続きを目指す。

就学相談の趣旨及び手続等の周知、理解啓発のため、小中特別支援学校の管理職や発達支援事業所等への説明会を行った。ホームページに掲載している特別支援教育や就学相談の説明動画を更新した。

判定専門部員による就学相談会を実施するにあたり、判定専門部員の専門性向上に向け、面談の在り方、検査の在り方、合理的配慮の提供、基礎的環境整備についての研修を実施する。本年度から学校の管理職は、原則全員に判定専門部員になっていただく方向性である。

他政令指定都市の就学相談システムを参考にしつつ、時代のニーズに応じた本市就学相談システムにおいて、今後校内での就学相談会に取り組む学校を増やす。

(委員) 就学相談の説明動画をホームページにあることは分かったが、掲示するパンフレットやポスターはあるか。

(事務局) 特別支援教育相談センターのホームページに掲載しているものや特別支援教育課から出ているリーフレットもある。

(3) 令和8年度 就学相談会実施要項

(4) 令和8年度 就学相談会の申込みについて

(5) 就学相談に係る答申とは異なり総合的判断を行って就学措置した児童生徒の状況調査

(事務局) 必要に応じて学校訪問や電話連絡による聞き取り等を通して、適応状況の確認を行う。